

『木曜日だった男』 ちもな登場人物

ガブリエル・サイム

詩人。無政府主義中央評議会に連れ込まれ、七人の幹部のひとり「木曜日」に任命される。

「日曜日」

無政府主義中央評議会議長。秘密結社を牛耳る白髪巨躯の謎の人物。

『書記』

無政府主義中央評議会の幹部「月曜日」。

ゴゴリ

同「火曜日」。ひどい訛りのポーランド人。

DIC  
142p

DIC  
212p

  
kobunsha  
classics

木曜日だった男

しおり (表面)

サントウスターシュ侯爵

無政府主義中央評議会の幹部「水曜日」。黒いフラン

ド・ウォルムス教授

ス風の髭をたくわえた洒落者。  
同「金曜日」。灰色の顔、灰色の顎鬚で、額が禿げ上がっている老人。

ブル博士

同「土曜日」。背が低く黒眼鏡をかけた開業医。

ルシアン・グレゴリー

サフラン・パークの詩人。サイムと議論を繰り返す。

デュークロワ大佐

レジオン・ドヌール勲章を持つ軍人。

DIC  
142p

DIC  
212p

  
kobunsha  
classics

木曜日だった男

しおり (裏面)